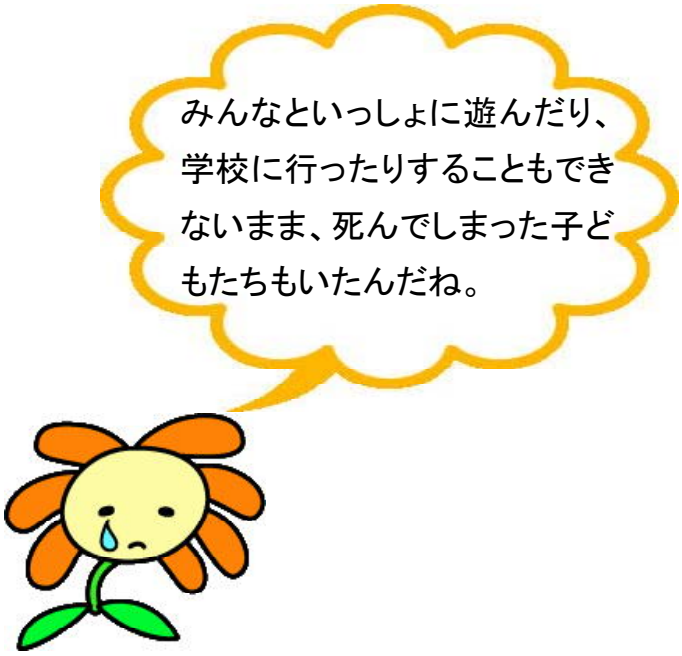
９ 胎児性水俣病とは

【水俣病のまま生まれてきた赤ちゃんは、どんな症 状が出てくるの？】

　お母さんのおなかのなかにいる赤ちゃんが水俣病になって生まれてきた場合を、胎児性水俣病といいます。汚染された魚を直接食べていなくても、妊娠中にお母さんが汚染された魚をたくさん食べると、メチル水銀がへその緒を通じて赤ちゃんの体内に入り、赤ちゃんが水俣病になって生まれてくることがありました。ですから、親からの遺伝によって子供が水俣病になるわけではありません。

　胎児性水俣病の患者さんはお母さんのおなかの中にいるときにメチル水銀によって障害をうけたため、脳がうまく発育しなかったり、脳の神経細胞が破壊されたりして、症 状の重い人の多くは、幼いうちに亡くなったりしました。



主な症状

・首がすわらない
・ふらついてうまく歩けない
・けいれん
・よだれを流す